

Gratitude and prayer

～We never forget your kindness～

2011年3月11日、東日本大震災が発生し、東北地方を中心に地震や津波による甚大な被害を受けました。Facebookへの書き込みやメールなどを通じて、国内はもとより海外のカヤッカーからも多くの支援の声をいただき、地震発生から6日後、海外からの支援提供に応えられるよう、QJの支援サイトを立ち上げて受け入れ態勢を整えました。世界中のカヤッカーからの応援のメッセージや寄付金などの支援提供が毎日のように届く中、QJメンバーの中には被災地に入り支援活動をされた方もいました。



4月早々、支援策第三弾として販売したチャリティーステッカーは、わずか数日で完売し、増刷をかけました。ステッカーのイラストのポスターをお祭りで貼り、日本のために寄付金を募りたいとの連絡がマルタから届いたり、発足して間もないオーストラリアのカヤッククラブ「Greenland Downunder」のメンバーの方からは、オーストラリアとニュージーランドでチャリティーステッカーの販売を請け負うという連絡をいただきました。

チャリティーのパドルを制作し売上が寄付して下さったパドル職人、アイルランドの遠征にQJの支援プログラムをチャリティーとして織り交ぜて下さったカヤッカー、Qaanaaq購入資金を寄付して下さったカヤッカー、カヤック誌やウェブサイトのページにQJの支援案内サイトの記事を掲載して下さった方やリンクを転載して下さった方、QJの年会費を寄付して下さった方、QJメンバーではなくても、QJの支援プログラムを支持して下さった方々、国内外から沢山の方がQJを通して被災地へ支援をして下さったことに改めて感謝申し上げます。みなさんから頂いた支援金は日本赤十字社へ寄付させていただきました。本当にありがとうございました！世界規模で繋がったカヤッカーや海外のクラブとの交流は続き、さらに広がっています。今後も繋がりを続けていくことを強く望みます。



震災直後に一旦白紙となったGUTS2011は、「東日本大震災復興支援チャリティーイベント」として被災地でもある青森県で9月に開催。ゲストのHelen Wilsonさん(現QAJAQ USA代表)はノーギヤラで参加してくださいました。また、ステッカーの販売を申し出て下さったオーストラリアのカヤッククラブ「Greenland Downunder」を主宰するWayne Hanleyさん、Mel Hanleyさんご夫妻が来日され、QJイベント初の海外からの参加者となりました。国内からも遠路はるばる多くのメンバーが集いました。

(左から、ゲストのHelenさん、通訳のNatalieさん、Wayneさん、Melさんご夫妻)



震災から10年。人々は絶望から立ち上がりましたが、被災地は未だ復興の途中にあり、被災された方々の悲しみや苦悩は続いていることと思います。私達にできることは何か、今もこれからも、震災や被災地のこと、支援してくださった方々への感謝を忘れず、自分にできる支援を続けていくことなのではないかと思っています。

2020年に発生したコロナウイルス感染症という新たな脅威に包まれる中、お互いやそれぞれの国の状況を心配し合いながら、世界が一つになり困難に立ち向かっている今、人と人との繋がり、支え合い励まし合うことで生まれるパワーを再び感じています。

世界中の人々が安心して安全に暮らすことのできる日が一日も早く来ることを願います。

(※文・写真引用 伊東英一氏ブログ「STORM ON Liner Notes」)



Qajaq JAPAN 代表 峯岸真弓